



旅

情

恋

詩

し

に

て

高
木
徳
一

目次

北海道

一. 自然の忍耐(利尻・礼文島) 5

二. 達成の歓喜(大雪山系) 6

三. 心の浄化(知床半島) 7

四. 昼夜の変貌(大沼公園 函館山) 7

五. 北国の団欒(札幌) 8

東北地方

六. この世の浄土(岩手県 浄土ヶ浜) 8

七. 墓との語り(宮城県仙台市) 9

八. 親切な新婚さん(福島県 猪苗代湖) 9

関東地方

九. 家康と一詩人(栃木県日光市) 10

十. 一人旅(群馬県 伊香保温泉) 11

十一. 恋しき女(群馬県 野反湖) 11

十二. 強制混浴(群馬県 草津温泉) 12

十三. 万物流転(群馬県 鬼押し出し)

浅間火山博物館) 13

三. 心の浄化(知床半島)

昭和四十五年八月

1 網走から斜里へ

列車は進む

オホーツクの砂浜に

笑みを漏らす

紅の浜茄子

穏やかに白波寄せる

原生花園

流氷の訪れし頃

花は地中に命を預け

刑務所に入りし人

法務大臣に命を預け

いでよ、さあ

オホーツクの四季を見よ

2 斜里から

バスは揺れる

知床旅情の碑

声高らかに歌い出す

樹々映す水の静けさ

知床五湖

白きウミウの世界

朝の潮風耳を切り

海に流れ落ちし滝音

かき消すウミウの

鳴き声

若者よ、さあ

共に羅臼に登ろう

四. 昼夜の変貌(天沼公園 函館山)

昭和四十五年八月

1

大沼の静かな水鏡に

駒ヶ岳がくつきりと

映っている

白雲がふんわか浮かぶ

大樹の下で一休み のどかな昼下り

この景色 目に この甘き空気が 胸に

そっとしまい込む。

2

一筋二筋三筋 揺れ動くぞ 光の乱舞だ

自動車のライトが生きている

ポツン またポツンと 停泊船の光も

函館山から見下ろす夜景

見上げるとキラキラ星も応援に

啄木の墓眠れず 夜空を見上げし

続きは
完成版で
お楽しみ下さい。